

第4回の内容

子どもの権利について‘もっと’考えてみよう!!!



内容

「子どもの権利」や「子どもの権利条例」についてみんなで考えたよ

第4回目の子どもワークショップを6月1日に開催したよ。30人の参加者がのむさん(野村先生)と一緒に「子どもの権利」や「子どもの権利条例」の大人の役割について考えたよ。今回は、内容を紹介するね!

当日の流れ

- ① アイスブレイク
「名前集めゲーム」
- ② 前回までの復習
「ブランコの話」
- ③ ハナちゃんとボビーによる劇
「大事なものを貸したけど…」
- ④ グループワーク
「権利のためには何が必要?」
- ⑤ 動画視聴
「ねこちゃん」「サッカー」
- ⑥ 第2回の復習
「6つの子どもの権利」
- ⑦ グループワーク
「6つの子どもの権利」を踏まえて
「大人がしなければならないこと」
- ⑧ 大人が考える
「大人がしなければならないこと」
を見てみよう

子どもの権利について考える

子どもの権利条例

①アイスブレイク

「名前集めゲーム」

- ① 紙とペンを用意
- ② 会場内の参加者同士でじゃんけん
- ③ 負けた人は勝った人の紙に名前を書く
- ④ 制限時間内でより多くの人の名前を集めたら勝ち



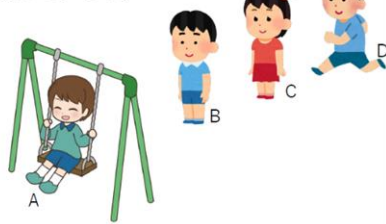
大人も一緒にじゃんけんしたよ

子どもも大人も一緒に盛り上がったよ! 3分間で12人の名前を集めた強者も

②前回までの復習

「ブランコのお話」

Aさんが、公園に一つしかないブランコに乗っています。



考えてみよう

Bさん、Cさん、Dさんは
ブランコに乗る権利がある?

Aさんはどうしたらいい?

「権利」について、
大切なこと

- 権利は言わないと実現しない。言わないとないのと一緒にいる。
- どちらにも権利があるというとき、相手の権利を考えることが大切な時がある。

③ハナちゃんとボビーによる劇

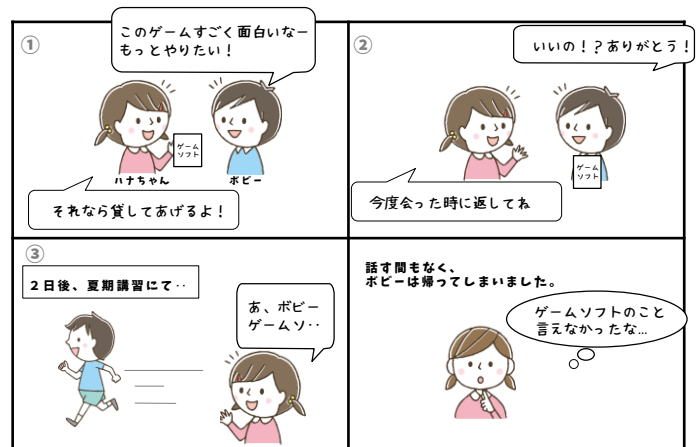
「大事なものを貸したけど…」

(あらすじ)

明日から夏休み、みんなウキウキしています。
ボビーはハナちゃんから、大切にしているゲームを借りました。



当日の劇を漫画にしてみたよ!
右の絵を見てみよう!



2人の言い分



「今度会った時返して」って約束したのに
わたしもあのゲームをやりたいのに...

ハナちゃん

夏休みの間借りられると思ってた
夏期講習でハナちゃんに
会う予定じゃなかった



ボビー

まとめ

ハナちゃんには、ゲームを返してもらう“権利”があります。

ボビーには、ゲームを返す“義務”があります。

「権利」と「義務」

権利＝「求めることができる」（「返して」って言うことができる）

義務＝「しなければならない」（返さなければならない）

それぞれに言い分があるとき、権利を持っている人が求めず、義務をもっている人がなにもしなければ、**権利がないのと同じことになる**



ハナちゃんが「返して」て言わず、ボビーが返さない。そうすると
ハナちゃんにある“権利”は、ないのと同じじゃ！

じゃあどうしたらいいの？

ボビー（義務がある人）に返してもらえらるまで、何度も求めるのじゃ！

それは、つらいな...

権利を持っているのって、実は「つらい」んじゃ

つらい時は、だれか（先生など）に助けを求めてよい解決方法を見つけてもらうのじゃ



④グループワーク

4つの権利分類シートを使って、
グループで考えよう



4つの権利分類シート

子どもの権利のためには何が必要？考えてみよう



「何が必要か」をグループで考えて



グループごとに発表したよ



発表で出た意見を一部紹介

- ・ 経済的な理由で、衣食住や希望の進路の制限を受けない
- ・ 大きすぎる不安（ヤングケアラー等）から守られ、好きなこと、勉強ができる時間が確保されていること
- ・ 自分の意見を聴いてもらえる人・環境（両親、カウンセラー、自分を理解してくれる人、アンケート、雰囲気等）
- ・ 子どもの意見が反映される仕組み
- ・ 嫌な思いをしたときに、親や友達にばれることなく気軽に相談できる場所
- ・ そもそもつらい思いをしない環境

⑤動画視聴「ねこちゃん」「サッカー」（東京都が作成した動画）を見て「子どもの権利」を考えよう



みんなで動画を見たよ

動画を見て、次のことをみんなで考えよう

- ・ 何が大切というお話かな？
- ・ この後、どうなると思う？
- ・ 子どもの意見のために何が大切？

動画はココから見ることができよう▼

Youtube
子供政策連携室
チャンネル

「ねこちゃん」



「サッカー」



「子どもの権利」
を守るためには

「大人がどうするか」というのがとても大事

⑥第2回ワークショップの復習

「6つの子どもの権利」について

第2回のワークショップで取り組んだ『大人*が考えた「子どもにとって大切な権利」についてグループで話し合い』の際に使用したワークシートの結果をまとめたものを使って、「6つの子どもの権利」についてふり返りを行ったよ
(*子どもの権利擁護に関する審議会委員)

第2回ワークショップ使用したワークシート

「6つの子どもの権利」

- ① 安心して生きる権利
- ② 自分らしく生きる権利
- ③ 育つ権利
- ④ 意見を聴かれる権利
- ⑤ 守られる権利
- ⑥ 個別の必要に応じて支援を受けられる権利

覚えてるかな？



他の人の意見を見て振り返ったよ

⑦グループワーク

「6つの子どもの権利」をふまえて、大人がしなければならないことを考えよう

「6つの子どもの権利」を実現したり、守っていくために、「大人」がしなければならないことを場所ごとに考えたよ (ワークシート①)

「場所ごと」って



同じ大人でも、お父さんやお母さんにやってほしいことと、学校の先生にやってほしいことと違ってくることもあるよね。そこで、大人*が考えた子どもがいる場所ごとに「大人がしなければならないこと」を考えてもらったよ。(*子どもの権利擁護に関する審議会委員)

〈場所〉

- 家庭 (保護者)
- 地域
- 【育ち学ぶ場所】
- 区
- ・ 学校
- ・ 児童館
- ・ 図書館

ワークシート①

内容を資料4にまとめたよ！



場所ごとに考えて記入



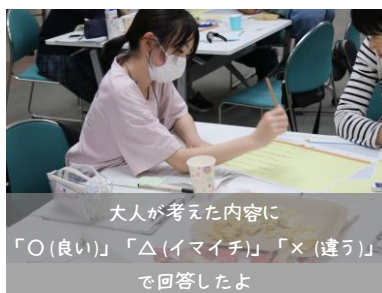
グループでまとめたシートを発表



⑧グループワーク

大人が考える「大人がしなければならないこと」を見てみよう

「皆が考えた『大人がしなければならないこと』」(ワークシート①)と、
「大人が考えた『大人がしなければならないこと』」(ワークシート②)の内容を比べてみて、
「大人が考えたもの」に足りないものがないかグループのみんなで確認したよ。



大人が考えた内容に
「○(良い)」△(イマイチ)×(違う)」
で回答したよ



書いてある内容が難しいところは
大人に教えてもらいながら考えたよ

ワークシート②

内容を資料4にまとめたよ！

どうしたら「子どもの権利」が守られるかを考える時に参考にしよう！



ワークショップで出た意見は「子どもの権利擁護に関する審議会」の大人に伝えるよ！